

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-149207  
(P2019-149207A)

(43) 公開日 令和1年9月5日(2019.9.5)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
<b>G06F 3/041 (2006.01)</b>	G06F 3/041 580	
<b>G06F 3/044 (2006.01)</b>	G06F 3/044 120	
	G06F 3/041 600	
	G06F 3/041 422	

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 22 頁)

(21) 出願番号	特願2019-109728 (P2019-109728)	(71) 出願人	598015084 学校法人福岡大学
(22) 出願日	令和1年6月12日 (2019.6.12)		福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(62) 分割の表示	特願2015-222582 (P2015-222582) の分割	(74) 代理人	100099634 弁理士 平井 安雄
原出願日	平成27年11月13日 (2015.11.13)	(72) 発明者	辻 聡史
(31) 優先権主張番号	特願2015-40329 (P2015-40329)		福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内
(32) 優先日	平成27年3月2日 (2015.3.2)		
(33) 優先権主張国・地域又は機関	日本国 (JP)		
特許法第30条第2項適用申請有り 1. ロボティクス・メカトロニクス講演会2015 平成27年5月17日~5月19日開催 2. 産業応用工学会全国大会2015 平成27年9月4日開催 3. IEEE SENSORS 2015 平成27年11月1日~11月4日開催			

(54) 【発明の名称】 近接・接触センサ

(57) 【要約】

【課題】 簡素化された構造で測定対象物の近接、接触及び押し込み量を正確に検知することができる近接・接触センサを提供する。

【解決手段】 自己容量測定方式により静電容量を検出して測定対象物の近接、接触を測定する近接・接触センサ1において、近接・接触センサ1の上面側に配設され、スイッチングによりグラウンド又は検出回路106のいずれかに接続される上部電極101と、上部電極101に対向して近接・接触センサ1の下面側に配設され、上部電極101のスイッチングに対応して、検出回路106又は測定電圧と同位相の電圧のいずれかにスイッチングにより切り替えられる下部電極102と、上部電極101と下部電極102との間に配設される弾性体103とを備える。

【選択図】 図11

